

# 横浜市東部方面斎場 (仮称)の整備について

日時 令和2年1月31日(金) 18時30分～  
令和2年2月 1日(土) 14時00分～  
場所 生麦地区センター

横浜市 健康福祉局 環境施設課

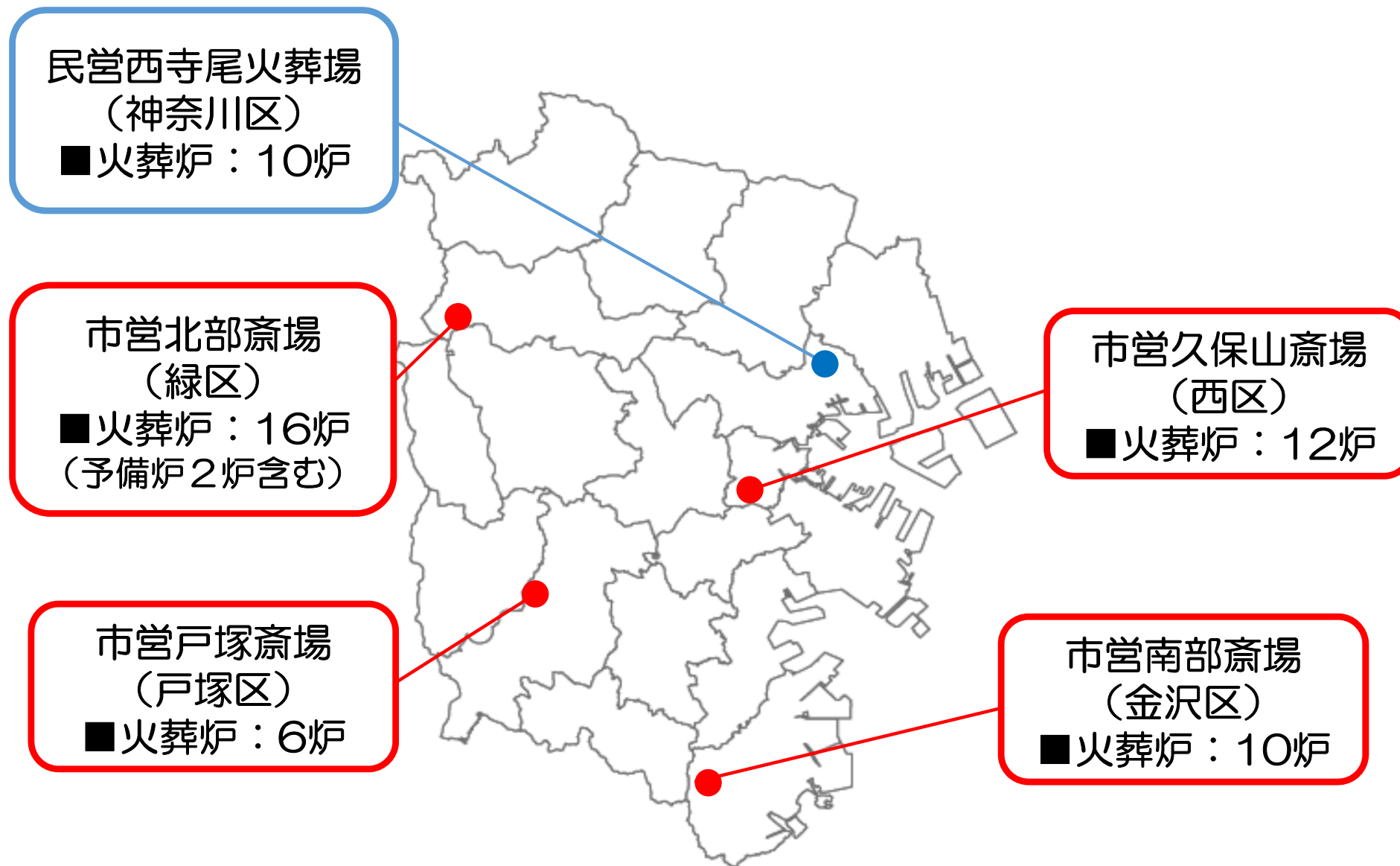
# 目次

- I 横浜市の現状
- II 計画地の一部形状変更
- III 整備の基本的な考え方
- IV 今後のスケジュール

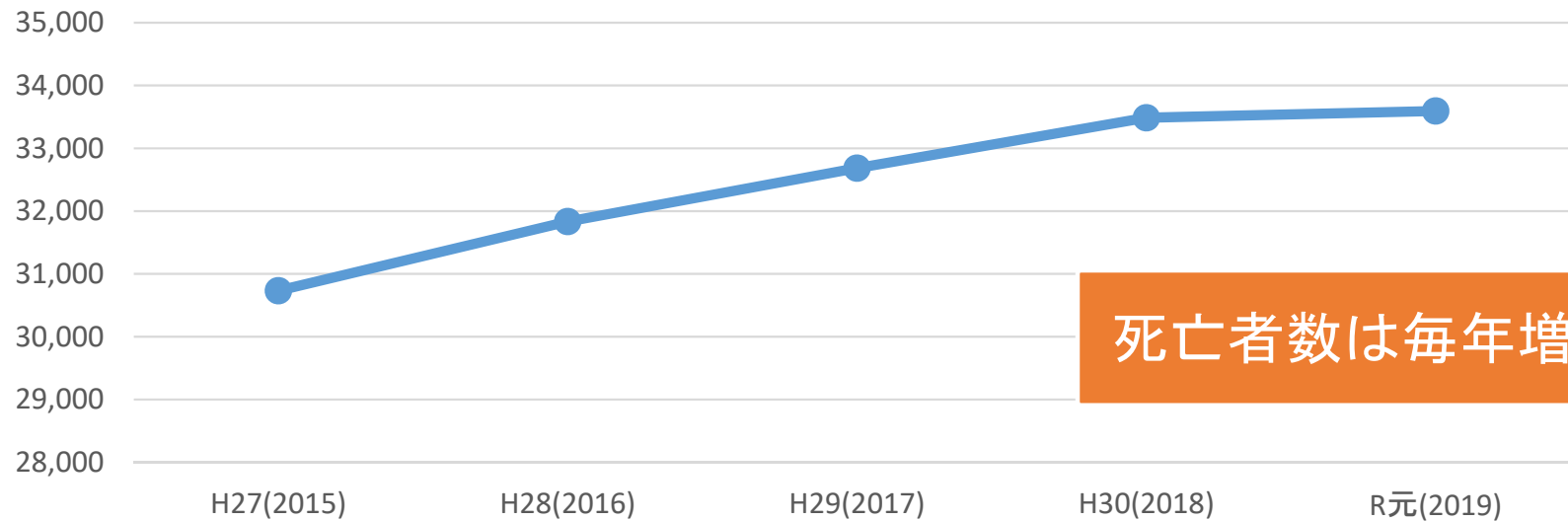
# 目次

- I 横浜市の現状
- II 計画地の一部形状変更
- III 整備の基本的な考え方
- IV 今後のスケジュール

## 市内斎場の配置図(現在)



## 最近5か年の市内死亡者数



	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)
死亡者数	30,733人	31,833人	32,684人	33,487人	33,594人
前年比	+566人	+1,100人	+851人	+803人	+107人

## 市内斎場の火葬実績

(単位:件)

年度	市営斎場 合計	市営斎場				民営 西寺尾 火葬場	合計
		久保山斎場	南部斎場	北部斎場	戸塚斎場		
平成26年度 (2014)	28,927	8,842	6,068	9,282	4,735	2,129	31,056
平成27年度 (2015)	29,053	8,805	6,233	9,319	4,696	2,112	31,165
平成28年度 (2016)	29,399	8,985	6,296	9,395	4,723	2,282	31,681
平成29年度 (2017)	30,258	9,183	6,493	9,677	4,905	2,558	32,816
平成30年度 (2018)	30,806	9,314	6,597	10,198	4,697	2,408	33,214

死亡者数と同様に増加傾向

## 市営斎場の火葬待ち日数

	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)
4斎場 平均	3.71 日	3.88 日	4.01 日	4.28 日	4.46 日

火葬待ち日数は年々長期化

### ※ 日数の計算方法

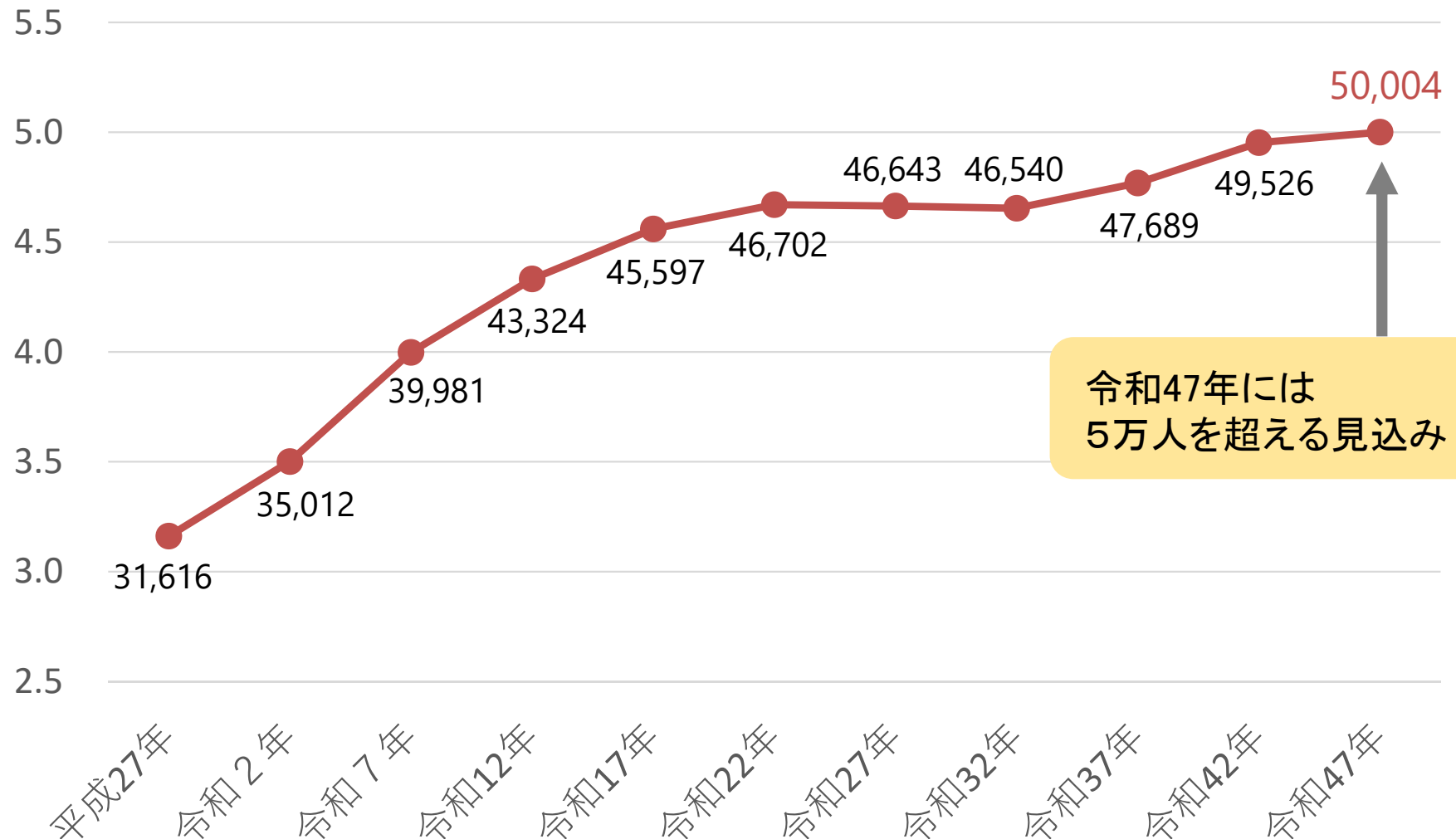
(法律の規定により死亡後24時間以内は火葬ができないため、死亡日の翌日から起算)

(死亡日)    (起算日)    (火葬日)

月曜日 → 火曜日 → 水曜日 = 火葬待ちは1日

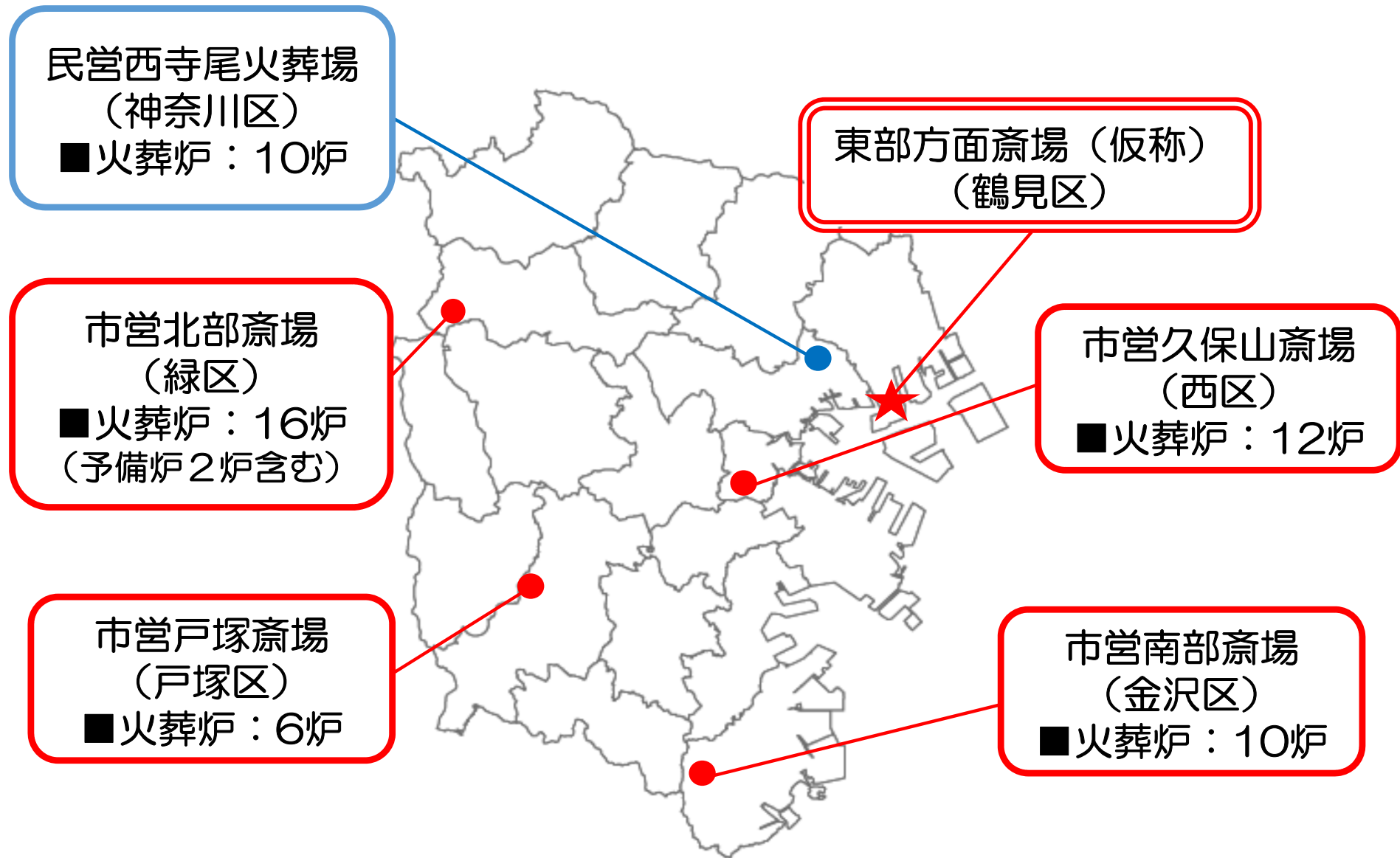
## 横浜市の死亡者数推計

(単位：万人)





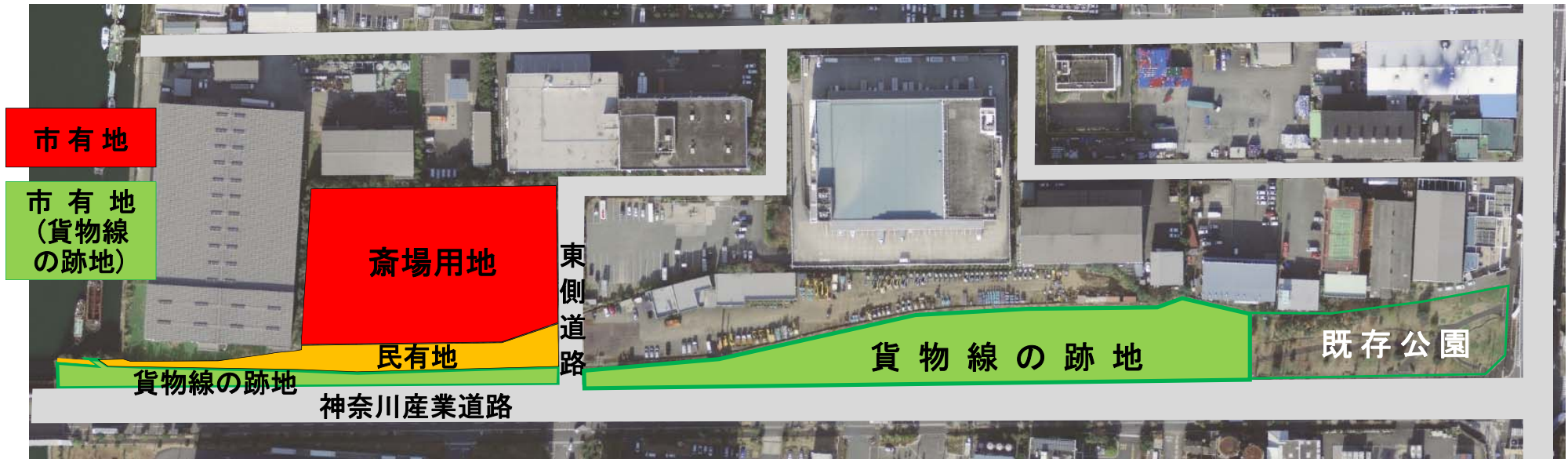
## 市内斎場の配置図(計画)



# 目次

- I 横浜市の現状
- II 計画地の一部形状変更
- III 整備の基本的な考え方
- IV 今後のスケジュール

### 【現状】

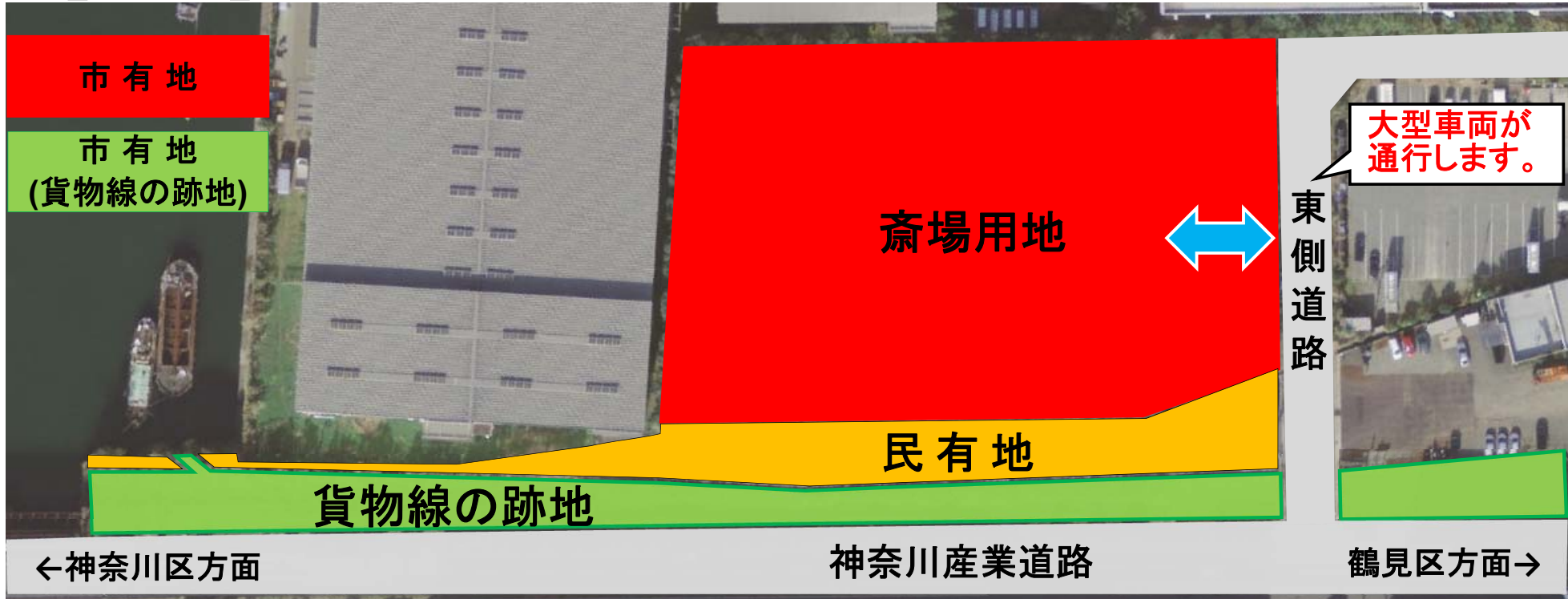


- ・ 斎場用地と神奈川産業道路の間には、「民有地」と「貨物線の跡地」があります。

## Ⅱ 計画地の一部形状変更

### (1) 斎場利用者の安全性・利便性の向上

#### 【現状】(拡大図)



- ・ 斎場用地へのアクセスルートは、「東側道路」からの一方向のみです。
- ・ 「東側道路」は、大型車両の通行があります。

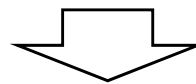
### (1) 斎場利用者の安全性・利便性の向上

#### 【変更前(現状)】

- ・ 斎場へのアクセスルートは、大型車両も通行する「東側道路」からの一方向のみです。

#### 【そこで・・・】

- ・ アクセスルートを複数確保し、安全性・利便性の向上を図ることを検討してまいりました。



#### 【対応策】

- ・ 隣接する「貨物線の跡地」を斎場整備に活用します。
- ・ 隣接する「民有地」を等価交換により取得しました。

## Ⅱ 計画地の一部形状変更

### (1) 斎場利用者の安全性・利便性の向上

#### 【変更後】(拡大図)



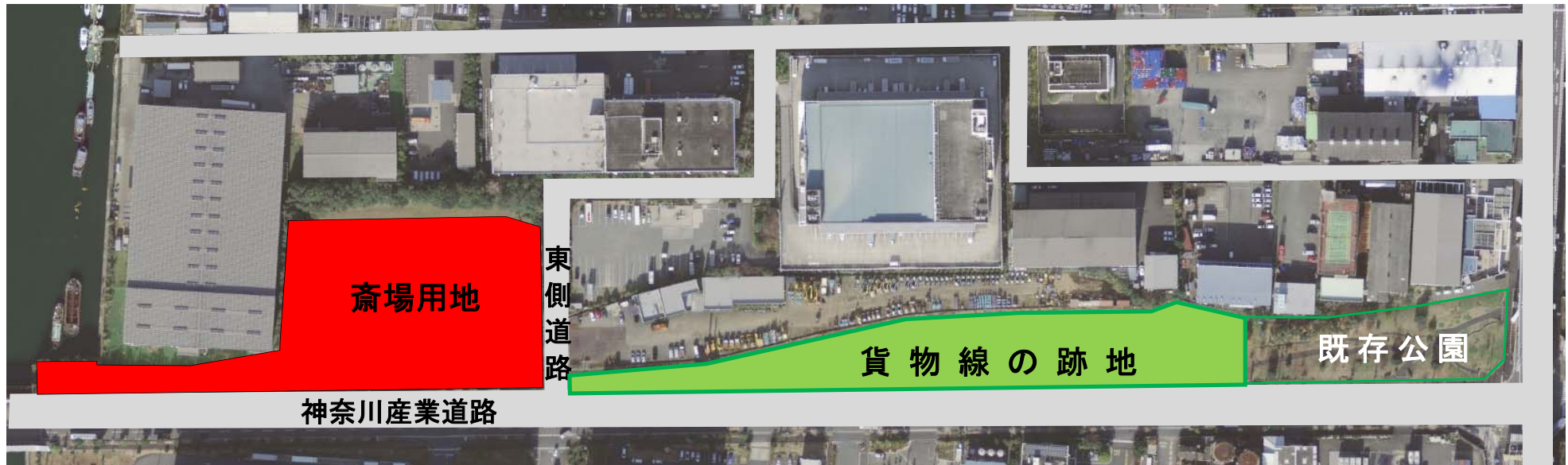
- ・ 神奈川産業道路からもアクセスできるようになります。
- ・ 「東側道路」を通行する大型車両との交錯が減り、より一層、斎場利用者の安全性が向上するとともに、利便性も向上します。



## Ⅱ 計画地の一部形状変更

### (2) 周辺交通への影響軽減

#### 【駐車場の計画(当初)】



- ・ 斎場用地(赤色)内に、駐車場150台以上を確保します。

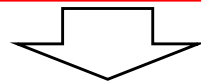
### (2) 周辺交通への影響軽減

#### 【駐車場の計画】

- ・ 斎場用地内には、駐車場150台以上を確保します。
- ・ しかし、大規模な葬儀が行われ、万一、会葬者による駐車待ちや路上駐車が発生すると、周辺交通へ大きな影響を与える恐れがあります。

#### 【そこで・・・】

- ・ 隣接する「貨物線の跡地」を活用します。



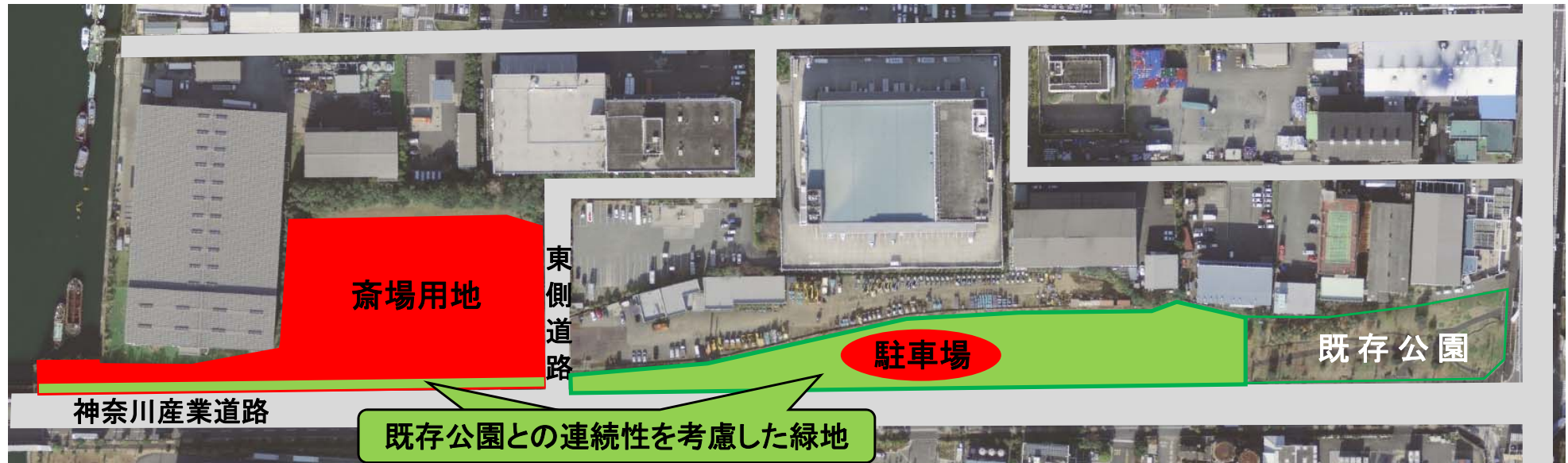
#### 【対応策】

- ・ 斎場利用者の敷地外駐車場を設けます。
- ・ 駐車場以外の部分は、斎場と一体的となる緑地として、既存公園との連続性を考慮した整備を行います。



### (2) 周辺交通への影響軽減

#### 【駐車場の計画(変更後)】



- 斎場利用者の駐車場を設けることで、周辺交通に与える影響を軽減します。
- また、駐車場以外の部分には、既存公園との連続性を考慮した緑地を整備します。

# 目次

- I 横浜市の現状
- II 計画地の一部形状変更
- III 整備の基本的な考え方
- IV 今後のスケジュール

- 1 機能的な施設計画
- 2 厳粛性・静寂性の確保
- 3 環境への配慮
- 4 災害対策
- 5 維持・管理への配慮

## 1 機能的な施設計画①

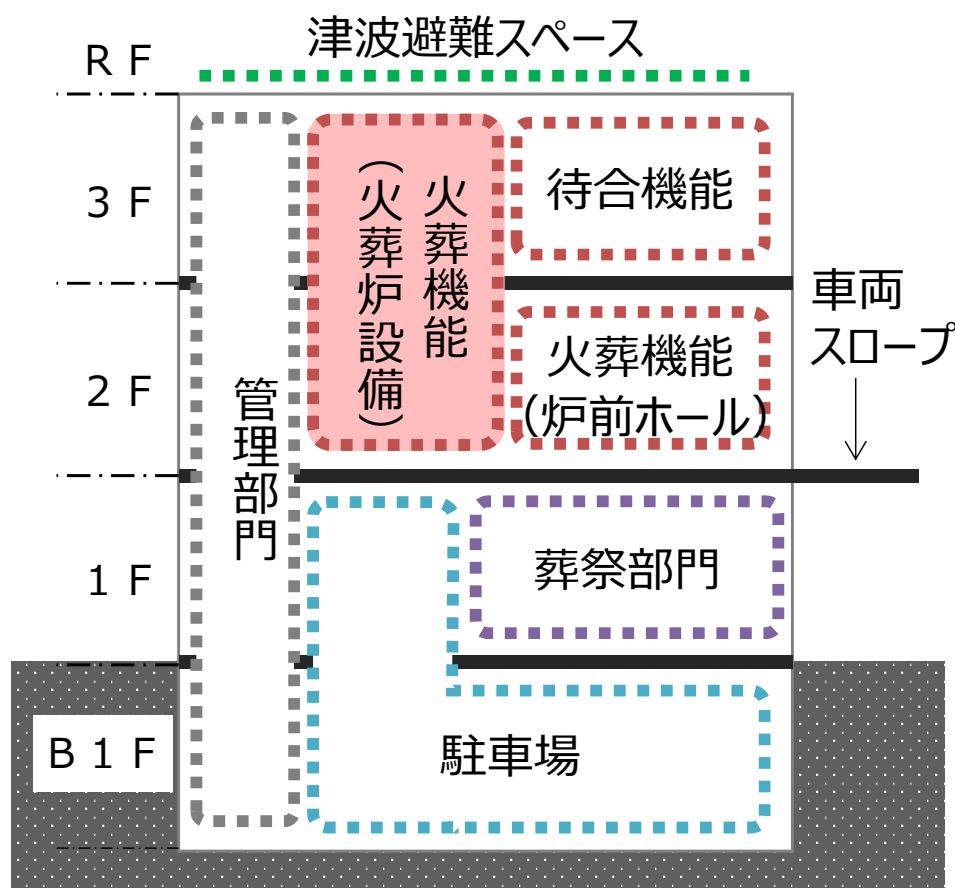
- ・葬送行為の流れや施設内の各機能のつながりを踏まえ、高齢者、障害者、乳幼児連れ利用者を含む全ての利用者が安全かつ円滑に利用することができ、斎場全体の動線の効率化を考慮した施設計画とします。



<キッズスペース イメージ写真:名古屋市立第二斎場>

## 1 機能的な施設計画②

<断面イメージ>



### 【整備諸室(想定)】

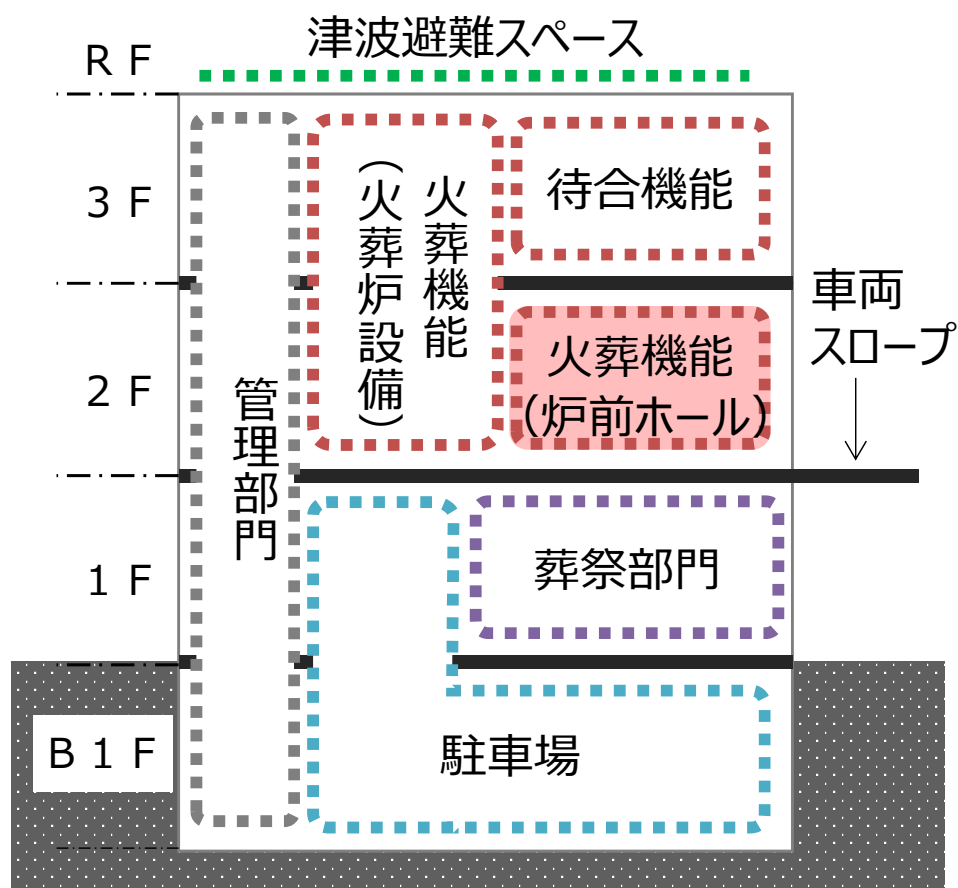
#### ・火葬炉設備

16炉(内予備1炉)

1炉に対し1排気系統

## 1 機能的な施設計画③

<断面イメージ>



【整備諸室(想定)】

・炉前ホール

16室(告別、収骨室兼ねる)

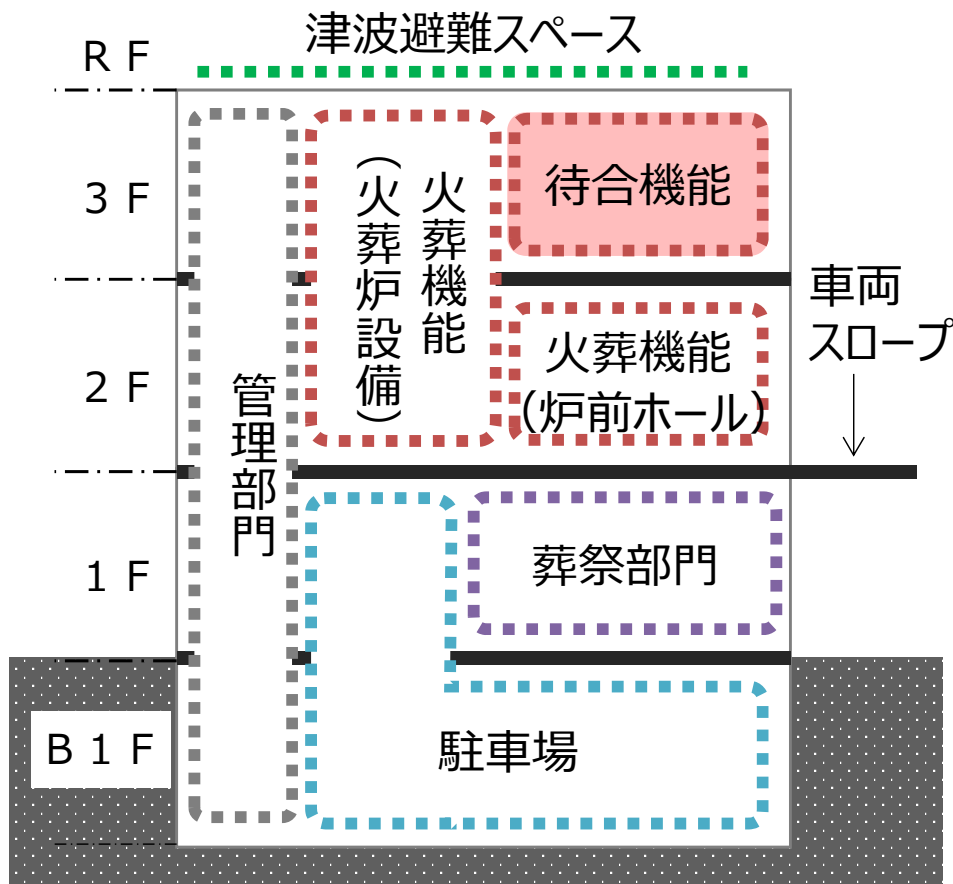


<イメージ写真:北部斎場(緑区)>



## 1 機能的な施設計画④

<断面イメージ>



【整備諸室(想定)】

・待合室(40人用)

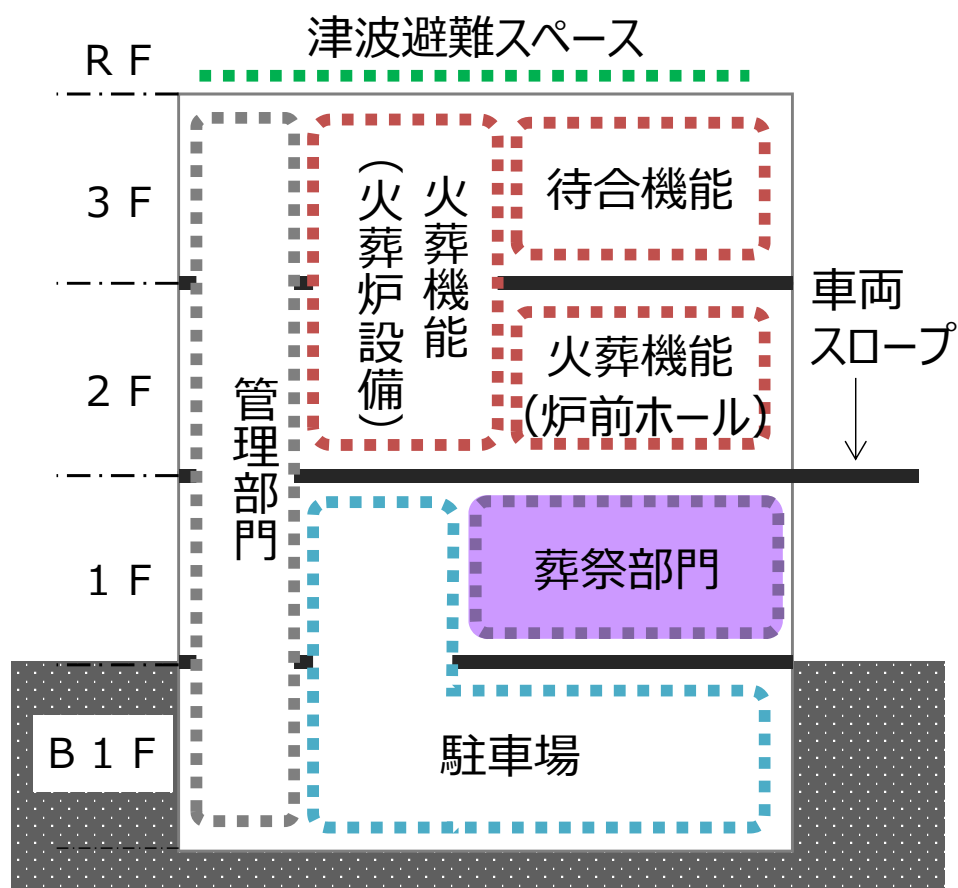
16室



<イメージ写真:北部斎場(緑区)>

## 1 機能的な施設計画⑤

<断面イメージ>



【整備諸室(想定)】

・葬儀式場(約50席)

2~3室

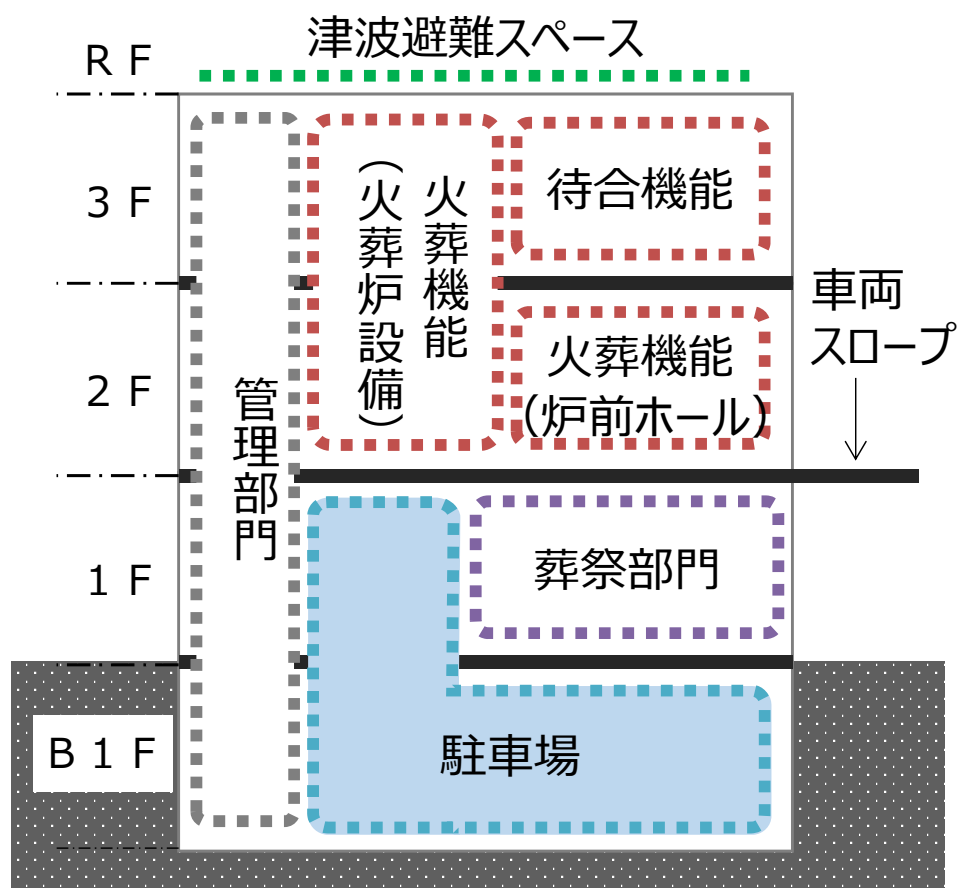


<イメージ写真:北部斎場(緑区)>



## 1 機能的な施設計画⑥

<断面イメージ>



【整備諸室(想定)】

・駐車場

150台以上

## 1 機能的な施設計画⑦

### 【整備概要】

所在	鶴見区 大黒町18-18ほか	面積	約11,000m <sup>2</sup>
用途 地域	工業専用地域	建蔽率 容積率	60% (緩和適用により70%) 200%
臨港 地区	横浜港臨港地区	現況	鶴見区スポーツ広場 (暫定利用中)ほか
規模 (想定)	延床面積 約20,000m <sup>2</sup> 、地上3階地下1階		

## 1 機能的な施設計画⑧

### 【整備諸室(想定)】

火葬炉 設備	16炉(内予備1炉) 1炉に対し1排気系統		
炉前 ホール	16室 (告別、収骨室兼ねる)	霊安室	ご遺体を約10体お預かりし、面会所も整備
待合 機能	待合室16室(40人用) 待合ロビー、売店・喫茶、キッズスペース		
葬儀 式場	2~3室(約50席)	駐車場	150台以上

## 2 厳肅性・静寂性の確保

- ・周囲の喧騒を遮断するよう建物配置を工夫し、静肅な空間の創出を図ります。

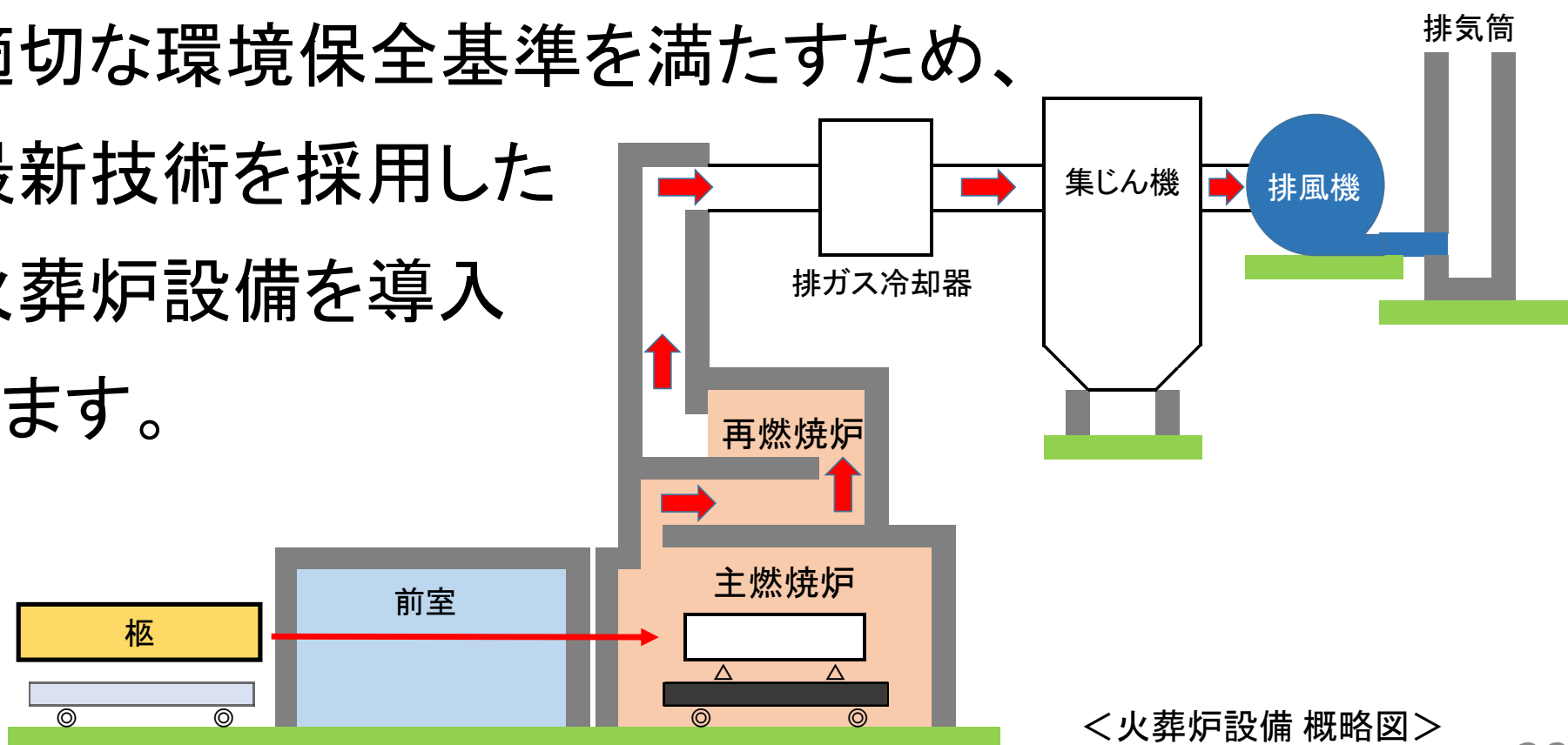
- ・葬送行為の個別性を高めるため火葬炉前の空間を一つ一つ独立させる等、故人との最後のお別れの場として厳肅かつ静寂な空間とします。



<イメージ写真: 北部斎場(緑区)炉前ホール>

## 3 環境への配慮①

- ・排ガス、臭気、騒音、振動等について適切な環境保全基準を満たすため、最新技術を採用した火葬炉設備を導入します。



<火葬炉設備 概略図>

## 3 環境への配慮②

- ・計画地周辺の土地利用計画を踏まえた緑化や、再生可能エネルギーの利用や設備システムの効率化等による環境への負荷低減を図ります。



## 4 災害対策①

- ・1.0m以上2.0m未満の津波浸水が想定されています。





## 4 災害対策②

- ・津波発生時には、斎場利用者のほか計画地周辺の方々の一時的な津波避難施設として活用できるように、斎場外部から屋上へアクセス可能な外部階段を設けます。



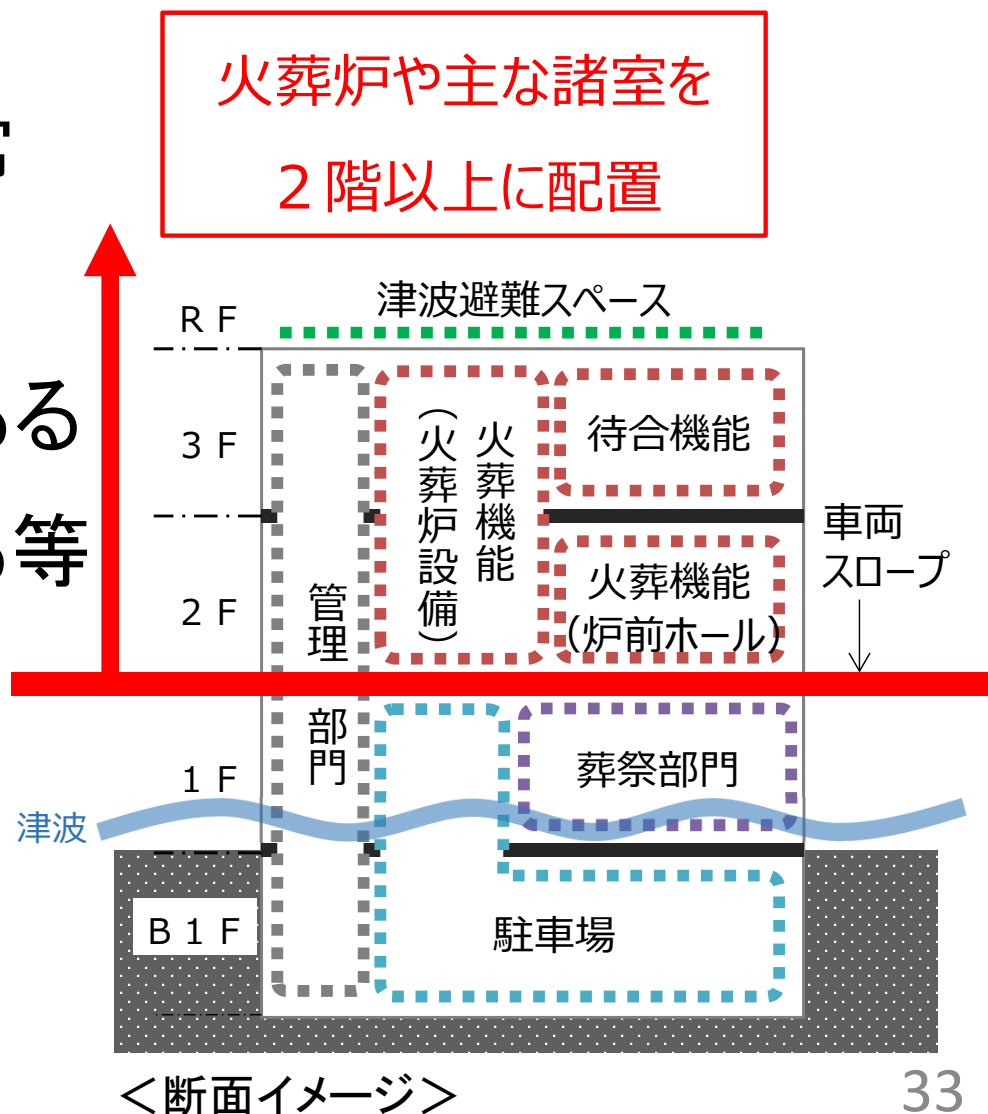
<イメージ写真:名古屋市立第二斎場>



## 4 災害対策③

- 火葬炉、受変電設備、非常用発電設備等については、想定される浸水深以上である建物の2階以上に設置する等の措置を講じます。

災害時も火葬機能を維持



## 5 維持・管理への配慮

- ・年間を通じて稼働するため、日常の運営、維持・管理がしやすい施設計画とします。
- ・火葬炉をはじめとする設備機器のメンテナンスや更新に際し、施設の稼働を止めることなく対応できるよう、各設備計画や管理動線に配慮します。

# 目次

- I 横浜市の現状
- II 計画地の一部形状変更
- III 整備の基本的な考え方
- IV 今後のスケジュール

### 令和2年度の業務内容 ※令和2年度予算案

- 基本設計
- 地質調査
- 火葬炉仕様検討
- 斎場利用車両の通行ルート検討
- 環境アセスメント(自主)

### 基本設計とは

整備の基本的な考え方を踏まえ、

- ・部屋の具体的な広さや高さ
- ・レイアウト(部屋の配置) などを検討し、

基本的な図面、仕様を作成します。

### 地質調査とは

基本設計着手に伴い、建築予定地で

- ・地下の土質
- ・地盤の強さ      などを調査します。

# 火葬炉仕様検討について

令和元年度の火葬炉調査を踏まえ、  
火葬炉設備の性能・仕様を検討します。

### 主な検討内容

- ・火葬炉や排ガス処理設備に関する仕様
- ・排ガス、臭気、騒音、振動等の環境保全基準

## 斎場利用車両の通行ルートについて

### 【交通量調査】

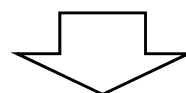
平成30年度

市営4斎場の  
交通量調査



令和元年度

整備用地周辺道路の  
交通量調査



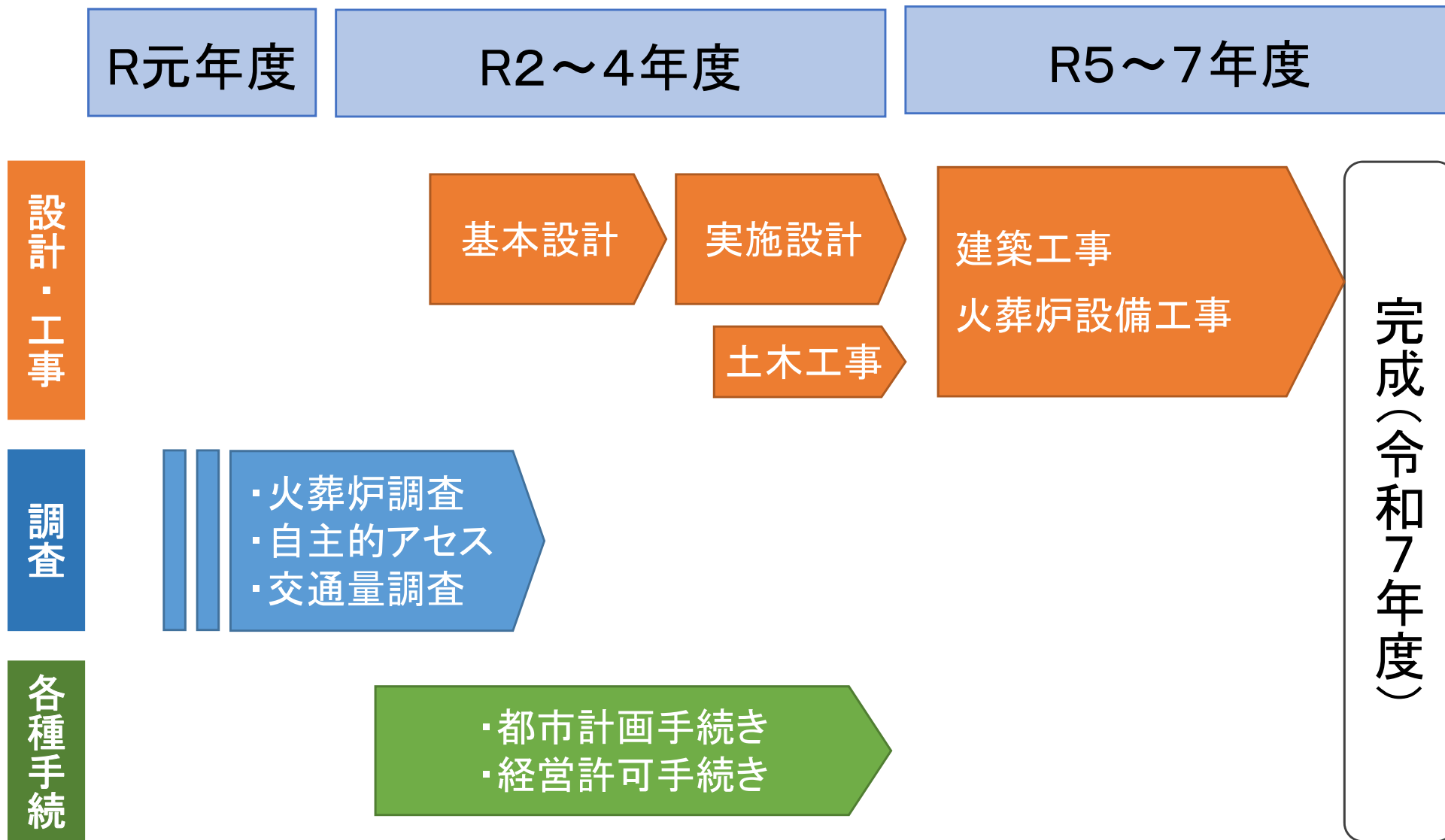
### 【調査結果検討】

調査結果を踏まえ、東部方面斎場(仮称)開所後の交通への影響を予測

- ① 周辺の交通に与える影響を考慮した通行ルート
- ② 斎場の利用者が安全に来場いただくことができる通行ルート



# IV 今後のスケジュール



※ 現時点での想定スケジュールです。事業の進捗状況により、変更になる場合があります。

ご清聴ありがとうございました

《問合せ先》

横浜市健康福祉局 健康安全部 環境施設課

TEL:045-671-2450 FAX:045-664-6753

〒231-0017 横浜市中区港町1-1 市庁舎7階(704号室)